

Have Fun つやまスポーツライフ
(たのしく親しむ)

一人一人が、いつでもどこでも気軽にスポーツ・武道に親しむことができるよう、生涯スポーツ活動を推進します。また競技団体、学校との連携を図り、競技力向上に努めます。

基本的な施策

- ◇ スポーツ振興基本計画の実践
- ◇ スポーツ団体の育成と活性化
- ◇ スポーツプログラムの提供
- ◇ スポーツ施設の充実
- ◇ 競技力の向上
- ◇ 指導者の養成
- ◇ 健康づくりとの連携
- ◇ 武道の振興

(1) スポーツ振興基本計画の実践

市民皆スポーツを目標に多くの市民にスポーツを普及し、生涯スポーツ社会の推進を図るため、平成20年度から平成29年度までのスポーツ振興基本計画の実現に努めます。

(2) スポーツ団体の育成と活性化

体育協会の競技種目団体などの合併を推進し、スポーツ団体の自立・活性化を支援します。平成21年度も引き続きモデル事業として「地域げんき事業」(小学校区以上)に取組み、地域スポーツ団体の育成に取り組めます。

(3) スポーツプログラムの提供

スポーツ行事や教室等の企画、類似行事の整理・統合など市民が自主的にスポーツに親しめる機会の奨励を図り、スポーツの活性化に努めます。また、大会やイベントを支える、スポーツボランティアの育成にも努めます。特に津山加茂郷フルマラソン全国大会の活性化や、Jリーグのホームタウンとしてゲームの誘致に取り組めます。

(4) スポーツ施設の充実

スポーツ施設の充実と、施設の運用・管理は、施設使用料の統一を契機に地域間のサービスの均衡や安全性の確保を図ります。

(5) 競技力の向上

競技力の向上を維持発展するために、関係機関との連携を図り選手の育成に努めます。また、地元優秀選手や、チームの活躍をサポートする応援団の活性化にも努めます。

(6) 指導者の養成

関係団体と協力して講習会・研修会を開催し、スポーツ技術、行事の企画などの指導者の育成を図ります。

(7) 健康づくりとの連携

市制80周年を契機に、ラジオ体操など健康づくり運動との連携を一層深め、市民の健康増進に努めます。

(8) 武道の振興

平成20年度に設置された武道振興構想懇談会の報告に沿って、武道の振興に取り組めます。

平成21年度主要事業	担当課	事業概要	平成21年度 事業費(千円)
地域げんき事業	スポーツ課	小学校単位でスポーツ少年団、PTA、体育指導委員、愛育委員などが中心となって地域住民が参加できる地域スポーツを行う、7地区をモデル事業として実施	700
夏季巡回ラジオ体操会 新規	スポーツ課	市制80周年を記念して市民に健康の大切さをアピールし、健康づくりのきっかけのためにラジオ体操を実施する	730
社会体育施設整備事業	スポーツ課	野球場ベンチ改修・体操練習場器具修繕・プール設備改修整備・陸上競技場器具更新	7,714



心身を育てる幼児教育

幼児一人一人が個性を伸ばし、心身ともに健やかに成長できるよう、情操教育や体験学習など教育内容の充実と整備に努めます。

基本的な施策

- ◇ 保育活動の充実
- ◇ 開かれた幼稚園づくりの推進
- ◇ 幼稚園のあり方についての検討

(1) 生きる力の基礎を培う保育活動の充実

幼稚園における「遊び」を中心とした保育活動のなかで、自然とのふれあいなどのさまざまな体験活動により、社会性の伸長を図り、人間関係づくりや思いやり、倫理観や感性、忍耐力など豊かな心と健康な体の育成に努めます。

(2) 地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進

幼児期の子育ては、家庭や地域との連携が不可欠であり、保護者の育児相談に応じ、幼児の基本的な生活習慣育成のために、家庭との連携を密にしながら保育を進めます。

また、幼稚園の施設を開放し、未就園児との交流、自己評価等の実施と説明により、地域・保護者とのかかわりを一層進めるための開かれた幼稚園づくりを進めます。

(3) 今後の幼児教育における幼稚園のあり方についての検討

昨年度、本市の幼児教育の基本理念、及び、新しい時代に対応した幼児教育のあり方について学識経験者や関係者から成る津山市幼児教育検討委員会より答申がなされました。この答申を受け、本市の幼児教育における幼稚園の今後のあり方について将来計画を策定します。

平成21年度主要事業	担当課	事業概要	平成21年度 事業費(千円)
幼稚園の今後のあり方について将来計画を策定	こども企画課	津山市幼児教育検討委員会の答申を受けて、幼稚園の現状を見直し、総合的な観点から社会のニーズや時代の変化に対応した幼稚園の将来計画を策定する。	244

人と社会を豊かにする文化の時代

**地域文化の継承と新たな文化の創造により文化力を高めるとともに、
郷土に愛着と誇りを持ち、地域の活性化に結びつける**

基本的な施策

- ◇ 芸術文化活動の推進
- ◇ 文化団体の支援と連携
- ◇ 国民文化祭の推進
- ◇ 文化施設の効果的運営
- ◇ 新津山洋学資料館の開館
- ◇ 津山郷土博物館の充実

(1) 芸術文化活動の推進

市民が自主的に創作活動を行える学習の場を拡充し、内外の優れた芸術・文化に触れる機会を積極的に設けます。

創作活動の支援と発表・鑑賞機会の提供として従来から行っている西東三鬼賞、津山川柳大会、文化教室、勝北ミュージカル、各文化センター自主事業など芸術文化事業のより一層の充実に向けて取組を進めます。

(2) 文化団体の支援と連携

津山市文化連盟などの芸術文化団体の支援や団体相互の交流を促進し、芸術文化活動の活性化を図ります。また、財団法人津山文化振興財団の活性化に努め、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供や文化施設・文化情報のネットワーク化を図ります。

(3) 国民文化祭の推進

平成22年には、「第25回国民文化祭・おかやま2010」が、県内各地で開催されます。津山市では①洋学シンポジウム②民謡・民舞の祭典③俳句会④写真展⑤茶道フェスティバル⑥中世山城の祭典が行われます。今年度は、市実行委員会及び事業別企画委員会で、本市で開催する6事業の内容を具体的に検討し詳細を決定するとともに、作品募集などの準備を進めます。また、国民文化祭に多くの市民が参画し意義あるものにするため、広報活動や啓発事業に取り組めます。

(4) 文化施設の効果的運営

現在、津山文化センターなど5つの公立文化施設の管理運営について、指定管理者制度を導入しています。制度の導入が、より住民ニーズに対応したサービスの提供や効果的な施設運営と稼働率の向上に繋がるよう、指定管理者への指導や連携を進めます。

(5) 新津山洋学資料館の開館

平成18年度から事業着手した新津山洋学資料館は、今年度完成します。乾燥、くん蒸、旧館からの移転、展示作業を行いながら、11月の建物内見会やイベントの実施、平成22年3月オープンを予定しています。特色ある地域文化・貴重な歴史的文化遺産を活かした生涯学習の拠点、学校教育の校外学習の場、また、城東地区観光の中核施設として開館します。

(6) 津山郷土博物館の充実

津山郷土博物館については、資料収集、調査、研究や民間資料の活用を積極的に進め、その成果を広く公開していくとともに、魅力ある特別展や講座の開催、美術展示コーナーの充実を図り、より多様な生涯学習機会の提供や幅広い学習活動の支援に努めます。

平成21年度主要事業	担当課	事業概要	平成21年度事業費(千円)
新津山洋学資料館の開館	文化振興課	乾燥、くん蒸、移転、展示作業、印刷物の作成などを行い、11月プレオープン（無料内見会やイベントの実施など）、平成22年3月本格オープン（記念特別展の開催など）を目指すとともにPRに努める。	14,200
国民文化祭推進事業	文化振興課	平成22年10月30日～11月7日の日程で開催される「第25回国民文化祭・おかやま2010」推進のため、21年度は国民文化祭津山市実行委員会及び事業別企画委員会で開催準備と啓発・PR活動を行う。	1,500
津山文化センター改修事業	文化振興課	平成22年秋に開催される国民文化祭に向けて、施設・設備の改修、改善を行う。	39,457
文化のまちづくり事業	文化振興課	ミュージカル公演（ヘンゼルとグレーテル）、新作ミュージカル制作（銀河鉄道の夜）、芸術鑑賞会。	9,247
文化振興ビジョンの作成	文化振興課	文化力の向上と芸術文化を推進するための施策を、効果的に展開するために策定する。	224

生涯学習による人づくり、まちづくり

だれもが主体的、自発的に「学び・発表・交流」することができ、学習の成果を活かすことのできる生涯学習環境づくりを推進します。また、地域社会のさまざまな場面において、学習を活かして活躍できる人材の育成を図ります。

基本的な施策

- ◇ 生涯学習活動の推進
- ◇ 公民館の整備
- ◇ 学社連携・融合の推進
- ◇ 地域課題への取組強化
- ◇ 子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、
放課後子どもプランの推進
- ◇ 図書館サービスの向上

(1) 生涯学習活動の推進

生涯学習による人づくりとまちづくりを進めるため、その礎となる「生涯学習推進計画」を策定し、推進組織の活性化や広報啓発を行います。また、生涯学習社会を支える人材の育成や、生涯学習で学んだ成果を社会に活かせるような講座など、特色ある各種生涯学習事業に取り組めます。

(2) 公民館の整備

生涯学習の地域の拠点となり、住民が学びあい支えあえるまちづくりの拠点となるよう公民館を整備します。

(3) 学社連携・融合の推進

生涯学習で身に付けた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくり、地域の教育力によって学校を支援する仕組みづくりを構築し、学校支援ボランティア制度の広報や登録者の増加に努めます。また、学校支援地域本部事業の取組など、学校と地域社会の連携・融合を推進します。

(4) 地域課題への取組強化

地域の課題解決という目標を見通した学習と活動を促すことにより、住民の意欲を高めて、公民館等を住民と行政を結ぶ地域振興拠点として機能させます。また、地域課題に対する住民理解を図るため、生涯学習リクエスト大学の講座メニューを充実させ、需要の拡大に努めます。

（５）子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進

家庭、地域の教育力向上を図るため、「津山っ子育成アピール」の趣旨を受け、学校教育部門、健全育成部門、こども施策部門と協力して支援に取り組めます。また、第２次津山市子ども読書活動推進計画や放課後子どもプランに基づいた事業など、関係部門と連携して推進していきます。

（６）図書館サービスの向上

生涯学習社会の醸成に向けて、市民の多様な学習活動を支援するため、図書館資料及び情報の充実、他の図書館との相互利用を図り、地域の情報拠点・学習拠点として、図書館サービスの向上に努めます。また、自動車文庫車両「ぶっくまる」を更新し、市内全域への巡回サービスの充実を図ります。

平成２１年度主要事業	担当課	事業概要	平成２１年度事業費(千円)
生涯学習推進計画策定事業 新規	生涯学習課	生涯学習による人づくりを通じたまちづくりを進めるため、時代に即した生涯学習推進計画を策定する。	1,394
つやまっ子はぐくみ教育推進事業 新規	生涯学習課	子どもの学力・体力の低下、生活習慣の乱れ、さらに家庭や地域の教育力などの社会的課題に対して、家庭の教育力の強化と読書活動の推進を行う。	1,500
加茂町公民館整備事業 新規	生涯学習課	老朽化した現公民館を改築し、地域の生涯学習活動に必要な機能・規模を備えた新公民館として整備する。(大断面木造平屋建 650 ㎡)	250,001
福南公民館災害復旧事業	生涯学習課	平成 20 年 10 月に焼失した福南公民館の復旧を本年度 8 月末の完成を目指して早急に行う。(鉄骨造平屋建 350 ㎡)	63,236
津山婦人青年の家整備事業 新規	生涯学習課	平成 22 年度の県からの無償譲渡に向けて、ソーラーシステム装置の撤去や防水処理工事、瓦葺、空調設備の改修を行う。	37,587
放課後子どもプラン推進事業	こども課	放課後の子どもの安全で健やかな居場所作りのために、運営委員会の開催、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の連携、推進を図る。	7,296

